

総務財政委員会
令和5年9月27日
企画経営部 資料3番
所管 広聴広報課

令和5年大田区政に関する世論調査結果（一部速報）について

1 調査概要

(1) 調査目的

大田区の各行政分野における区民の意向・要望・生活実態を把握するとともに、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とする。

(2) 調査期間

令和5年5月31日(水)～6月19日(月)

(3) 対象

区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人住民を含む）4,000人

(4) 調査方法

郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、スマートフォンおよびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

(5) 回収の結果

ア 回収数 2,025人（電子申請544件含む） 回収率 50.6%

イ 有効回収数 2,021人 有効回収率 50.5%

2 調査結果（一部速報）について

基本構想の策定、各種計画の策定等に活用し、今後の区政運営や政策立案の基礎資料とする。

調査項目	令和3年度	令和5年度
定住意向（計）	82.8%	84.7%
暮らしやすいと感じている（計）	76.9%	79.9%

※定住意向（計）は、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」の合計

※暮らしやすいと感じている（計）は、「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」の合計

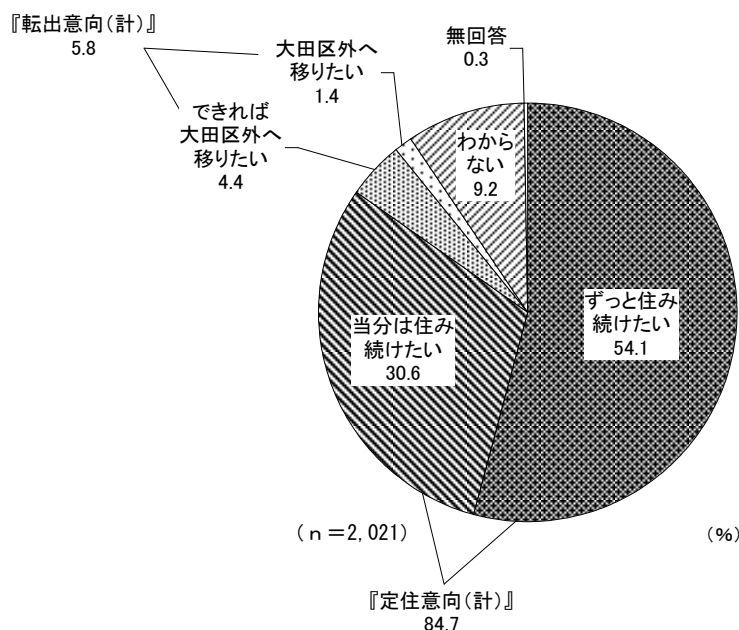
3 結果の公表

12月上旬頃以降に区報及び区ホームページに結果報告を掲載予定

1. 定住性

■定住意向・・・『定住意向（計）』は8割半ば

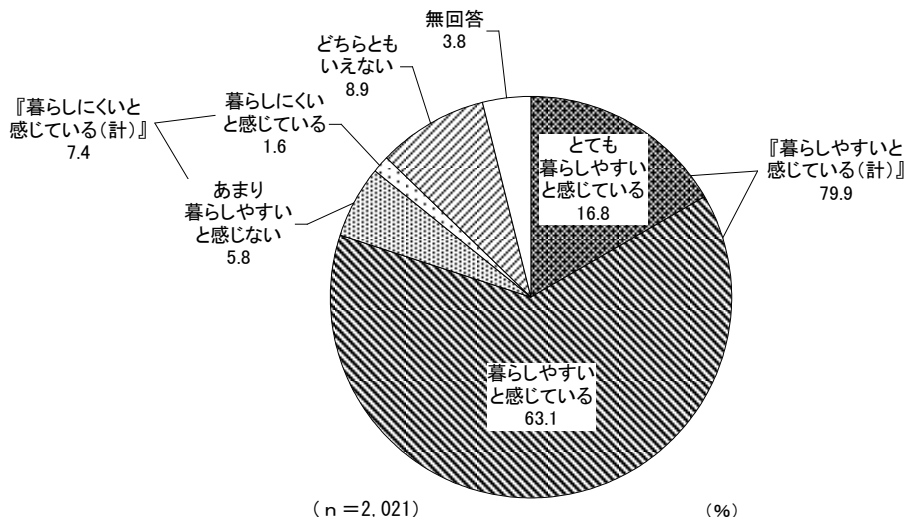
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(54.1%)が5割半ばで最も高く、これに「当分は住み続けたい」(30.6%)を合わせた『定住意向（計）』(84.7%)は8割半ばとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(4.4%)と「大田区外へ移りたい」(1.4%)を合わせた『転出意向（計）』(5.8%)は1割未満となっている。



2. 暮らしやすさ

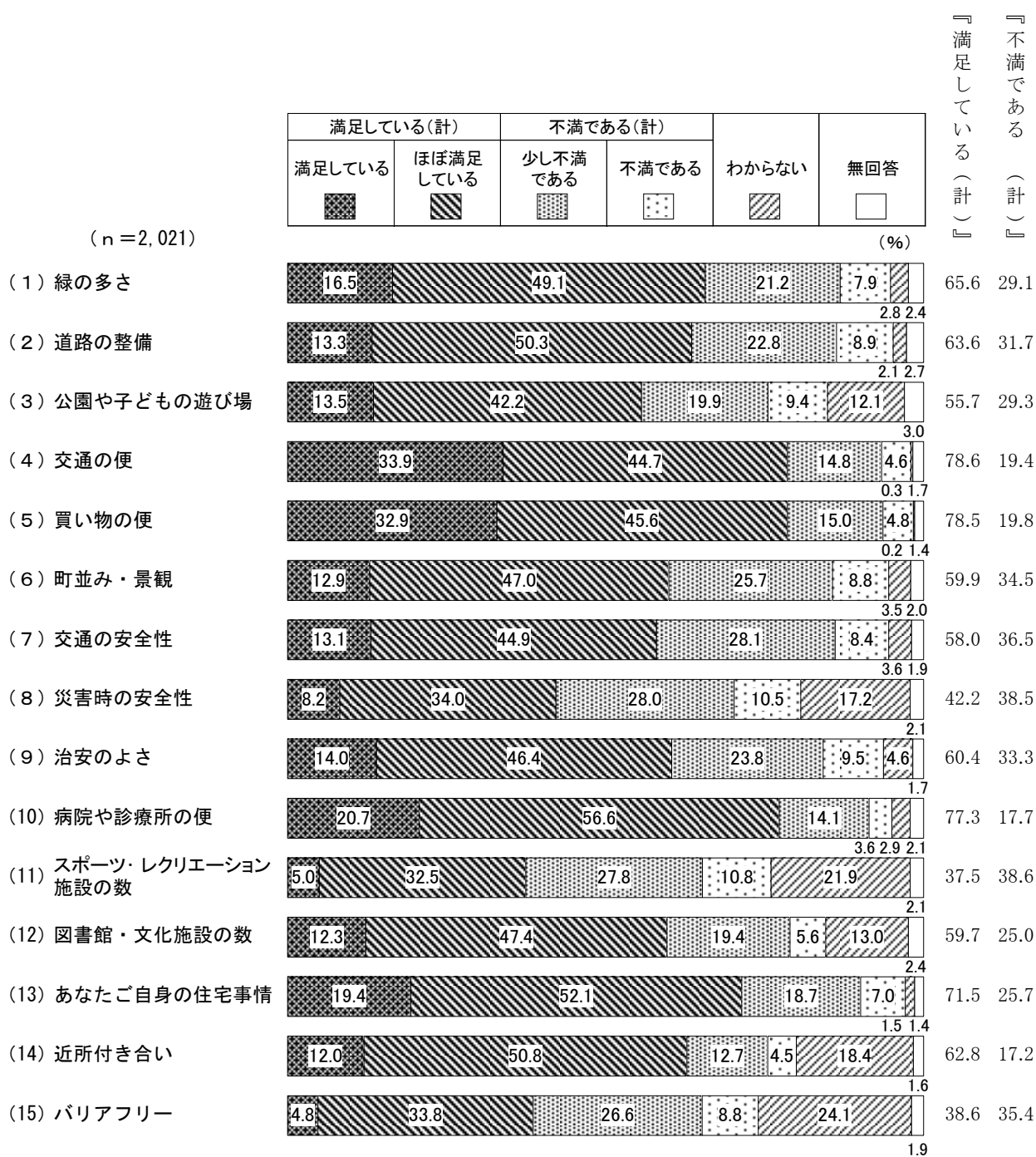
■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は8割

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」(63.1%)が6割を超えて最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」(16.8%)を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』(79.9%)は8割となっている。一方、「あまり暮らしやすいと感じない」(5.8%)と「暮らしにくいと感じている」(1.6%)を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』(7.4%)は1割未満となっている。



■生活環境の満足度・・・『満足している(計)』は「交通の便」、「買い物の便」、
「病院や診療所の便」で8割近く

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している(計)』は「交通の便」(78.6%)、「買い物の便」(78.5%)、「病院や診療所の便」(77.3%)の3項目で8割近くと高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である(計)』は「スポーツ・レクリエーション施設の数」(38.6%)、「災害時の安全性」(38.5%)、「交通の安全性」(36.5%)の3項目で4割近くと高くなっている。

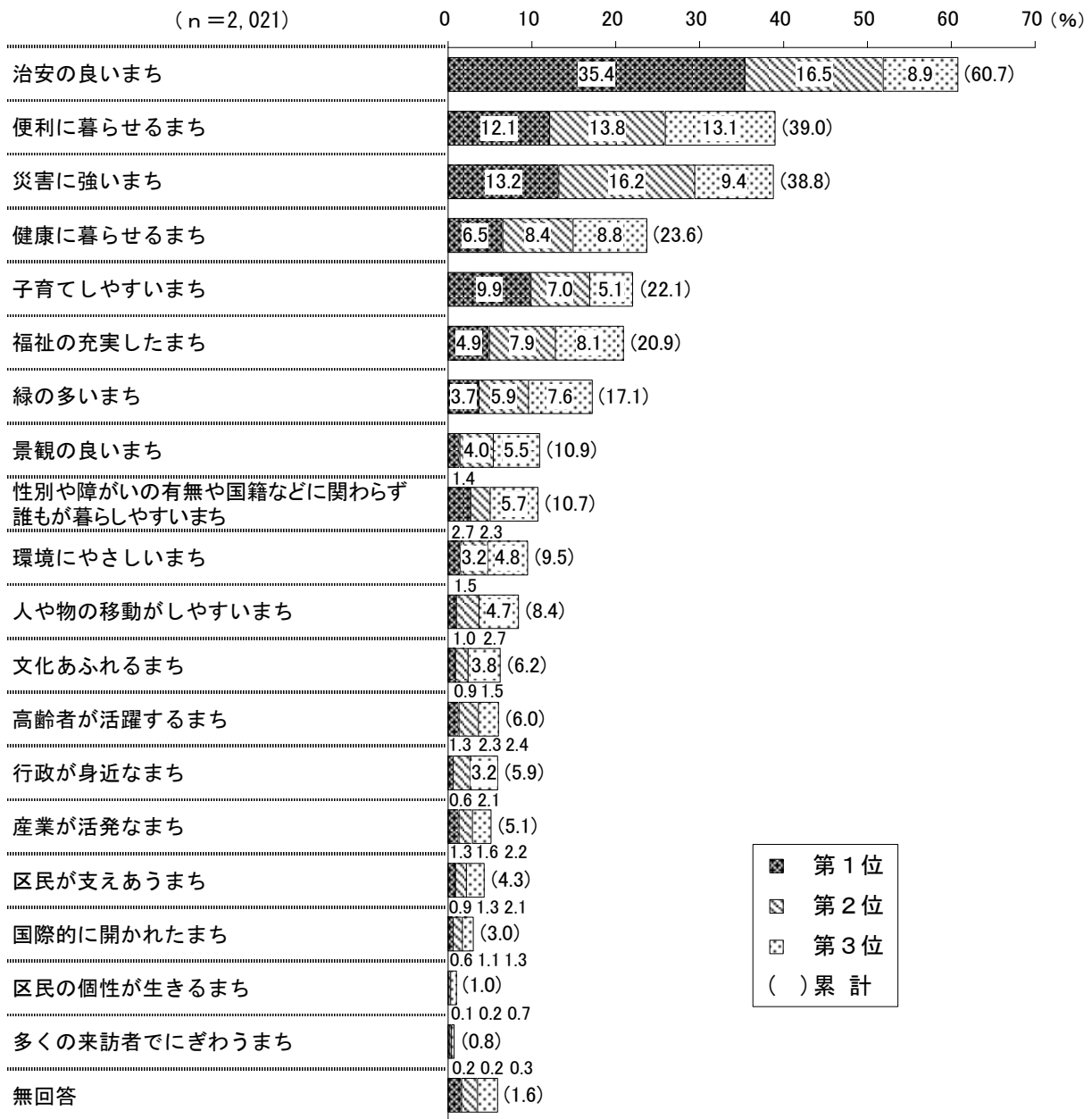


■住んでいるまちにどのようなようになってほしいか

・・・《累計》では「治安の良いまち」が約6割

住んでいるまちにどのようなようになってほしいか聞いたところ、第1位では「治安の良いまち」(35.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「災害に強いまち」(13.2%)などの順になっている。

また、第1位から第3位までを合わせた《累計》でみると、「治安の良いまち」(60.7%)が約6割で最も高く、次いで「便利に暮らせるまち」(39.0%)、「災害に強いまち」(38.8%)、「健康に暮らせるまち」(23.6%)などの順になっている。



13. 区政への関心と要望

■ 施策要望・・・「防災対策」が6割近く

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(57.5%)が6割近くで最も高く、次いで「防犯対策」(55.0%)、「保健・健康(休日診療を含む)」(41.5%)、「児童福祉(子育て支援・保育等)」(39.7%)などの順になっている。

「その他の施策」への回答として、「路上喫煙対策」、「駐輪場の増設」などがあげられている。

